

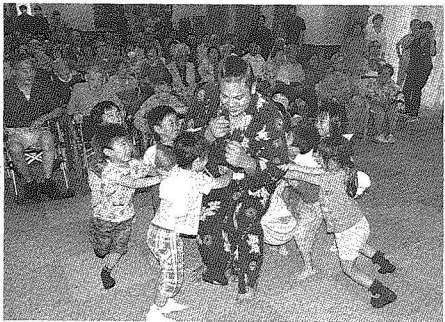
お相撲さんがやってきた

峰崎部屋 東三河の老人福祉施設慰問

社会福祉法人・寿宝会が運営する東三河地方の老人介護福祉施設に24、25日、名古屋場所を終えたばかりの大相撲・峰崎部屋（三重県桑名市）の力士が慰問し、高齢者らと交流した。

25日は幕下の三段目・光源治晴さん(24)と同・満津田誉彦さん(22)が豊川市や蒲郡市の施設を訪

問。豊川市御津町のケアハウス一晃では、近隣にある御津西部保育園（小林奈々園長）の児童44人も訪れ、関連施設を利用するお年寄りら100人以上と触れ合った。



両力士は力強い四股（しこ）踏みを披露すると、子どもたちの質問に答えたり、相撲対決では大きな体で児童の突っ張りを受け止めた。利用者との「大一番」では豪快に転んで敗れると、場内

園児らと相撲対決で触れ合う満津田さん(左)と一晃ケアハウス一晃で

は大笑い。光源治さんは「子どもたちも力強くて、負けてしまった」。満津田さんも「この悔しさを秋場所につなげたい」と言いつて喜ばせた。お礼に園児らは「海」の合唱などを披露した。

今年で17年目を迎える恒例行事で、両力士を通じて園児らに菓子をプレゼントした寿宝会の小川正博さんは「相撲が大好

出展
東愛知新聞
2017年7月26日付朝刊